

持続可能な経済の創造へ

～2030年のほっかいどうを考える Economy Meeting～

「経済」とは、利益を上げること、お金を使うことでしょうか。「経済」の語源は「経世済民」だと言われます。経世済民とは「世の中を治め、人民を救う」という意味だそうです。つまり「経済」とは、多くの人が暮らしやすい世界を実現するための活動だと言えるのではないのでしょうか。この「経済」を持続可能にすることが、持続可能な社会や環境を実現することにつながると考えます。

北海道では現在、2030年までの「国連 持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に取り組むためのビジョン策定を進めています。そこには、国連におけるSDGsの策定プロセスにみられるような多様な立場からの意見を反映することが欠かせません。私たちの生活に密着した、「労働」と「雇用」、「消費」と「生産」のあり方について考え、議論することは、持続可能な社会を実現する上で最も重要なテーマではないかと考えます。

2030年の北海道のあるべき姿を想像し、持続可能な経済実現に向けた行動を始める機会としていただくため、労働を提供している方（正社員、パート、アルバイト、多様な雇用形態全て）、働きづらいつわられている方、雇用されている方、消費者として、生産者としてたずさわりたいとお考えの方などを対象としたワークショップを開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時 2018年10月11日（木）18：00～20：30

会場 札幌駅 TKP カンファレンスセンター 2A

定員 40名

対象 企業、労働者、労働団体、生産者、消費者団体、福祉関係者など

参加費 無料

プログラム

- ・開催の挨拶および趣旨説明：北海道中小企業家同友会 理事 清水誓幸
- ・情報提供：企業に対するSDGs認知度調査の結果について
北海道大学地球環境科学院 教授 山中康裕
- ・ワークショップ：持続可能な「経済」に欠かせないもの、次への行動を考える
進行役：RCE 北海道道央圏協議会 事務局長 有坂美紀

主催：北海道中小企業家同友会 HOPE 持続可能な地域社会研究会

共催：RCE 北海道道央圏協議会

協力：北海道、北海道大学地球環境科学院

連絡先：北海道中小企業家同友会 清水誓幸 shimizu@s-hokusyo.com

RCE 北海道道央圏協議会 有坂美紀 arisaka@rce-hc.org